

プログラム

第1日目 12月4日(土)

9:30 ~ 受付

9:50 ~ 10:00 開会の辞 大会長 福田 敦夫(浜松医科大学 神経生理学講座)

10:00 ~ 11:00 一般演題1 座長 三邊 義雄(厚生連高岡病院)

演題番号1

定型発達と自閉症特性をもつ9歳児の適応行動と認知機能の関連

○時沢亜佐子¹⁾、西村倫子¹⁾、土屋賢治¹⁾

1) 大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学 連合小児学研究科

演題番号2

母親の持続的な産褥期うつ病が小児期の子どもの心理的問題に及ぼす長期的影響

○田井中華恵^{1,2)}、高橋長秀^{1,2,3)}、西村倫子^{1,2)}、奥村明美^{1,2)}、原田妙子^{1,2)}、岩渕俊樹^{1,2)}、Md Shafiur Rahman^{1,2)}、野村容子^{1,4)}、土屋賢治^{1,2)}

- 1) 浜松医科大学子どもこころの発達研究センター
- 2) 大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科親と子どもの心療学
- 4) ニューヨーク州立大学クイーンズ校心理学科

演題番号3 【奨励賞対象演題】

fMRI などから得られる脳機能評価に対する直前の睡眠の質の影響

○佐原慈佳^{1),2)}、小島隆行^{2),3)}、平野好幸^{2),3),4)}、松吉大輔²⁾、西村春輝^{2),6)}、相澤裕紀^{2),7)}、山田真希子²⁾、清水栄司^{1),3)}

- 1) 千葉大学大学院医学研究院 認知行動生理学
- 2) 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医科学部門
- 3) 千葉大学 子どもこころの発達教育研究センター
- 4) 大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究科
- 5) 公益財団法人 大原記念労働科学研究所
- 6) 東北大学大学院医学系研究科

演題番号4

通信制高校における認知行動療法プログラム「勇者の旅」の実施可能性研究

○大下恵美子^{1,2)}、大橋将一¹⁾、佐藤康憲³⁾、浦尾悠子^{1,2)}、清水栄司^{1,2,4)}

- 1) 大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科(千葉校)
- 2) 千葉大学子どもこころの発達教育研究センター
- 3) 慶應義塾大学大学院臨床研究推進センター生物統計部門
- 4) 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

11:00 ~ 11:10 休憩

11:10 ~ 11:40 一般演題 1 座長 伊豫 雅臣 (千葉大学大学院医学研究院 精神医学)

演題番号 5

ネット依存の未成年者の保護者に対する遠隔認知行動療法のパイロット・ランダム化比較試験のプロトコル

○堀田英樹¹⁾、清水栄司¹⁾、関陽一²⁾

- 1) 千葉大学大学院医学研究院 認知行動生理学
- 2) 千葉大学医学部附属病院 認知行動療法センター

演題番号 6

小学校特別支援学級の学級・学校環境の検討—児童と担任教師への質問紙調査より—

○北村大明¹⁾、浦尾悠子²⁾、清水栄司²⁾³⁾

- 1) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科
 - 2) 千葉大学子どものこころの発達教育センター
 - 3) 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学
-

11:40 ~ 12:10 総会

12:10 ~ 13:10 休憩

13:10 ~ 13:50 特別講演 1 座長 秋田 天平 (浜松医科大学 神経生理学講座)

「希少難治性疾患の網羅的遺伝子解析と病態解明」

才津 浩智 (浜松医科大学 医化学講座)

13:50 ~ 14:30 特別講演 2 座長 秋田 天平 (浜松医科大学 神経生理学講座)

「経頭蓋脳刺激法によるヒト脳研究と臨床応用：現状と展望」

田中 悟志 (浜松医科大学 総合人間科学講座 心理学)

14:30 ~ 14:40 休憩

「子どものこころの臨床に関する現状と課題」

14:40 ~ 16:00 シンポジウム 座長 伊豫 雅臣 (千葉大学大学院医学研究院 精神医学)

WEBでの子どものストレスチェックと認知行動療法の授業の普及

○清水栄司^{1, 2, 3)}、浦尾悠子¹⁾

- 1) 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター
- 2) 千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学
- 3) 千葉大学医学部附属病院認知行動療法センター

5歳児発達健診と学校コホートの試み

○中村和彦¹⁾²⁾、斉藤まなぶ¹⁾²⁾、足立匡基²⁾

- 1) 弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座
- 2) 弘前大学大学院医学研究科 附属子どものこころの発達研究センター

「神経発達支援センター(P3NUTS)の取り組み～子どもの発達しようがいの地域包括支援に向けて」

○中里道子¹⁾、細田豊¹⁾、車井元樹²⁾、伊藤太枝子²⁾、梶村いちげ³⁾、藤井克則³⁾、角田亘²⁾

- 1) 国際医療福祉大学成田病院精神科
- 2) 国際医療福祉大学成田病院リハビリテーション科
- 3) 国際医療福祉大学成田病院小児科

「CHIBA TAIYO Project-小児科・精神科・児童精神科の地域医療連携推進計画-」

○佐々木 剛

千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部

16:00 ~ 16:10 休憩

一般演題 2

16:10 ~ 17:10 (演題番号 7~10) 座長 山岸 覚 (浜松医科大学 器官組織解剖学講座)

演題番号 7 【奨励賞対象演題】

Dopamine D2 Receptor/FABP3 Signaling Mediates Nicotine-Induced Addiction

○Wenbin Jia¹, Takuya Sasaki¹, Ichiro Kawahata², Kohji Fukunaga²

1) Department of Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University

2) Department of CNS Drug Innovation, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University

演題番号 8 【奨励賞対象演題】

The molecular mechanism by which GPCRs localize to the primary cilia—Implications for ciliopathies with intellectual disability and autism—

○Yuanyuan Qin, Ko Miyoshi, Yinshengzhuoma Wang, Takeshi Yoshimura, Taiichi Katayama

Department of Child Development and Molecular Brain Science, United Graduate School of Child Development, Osaka University

演題番号 9 【奨励賞対象演題】

線条体におけるドパミン D1 受容体シグナルの領域特異的な制御: L-ドパ誘発性ジスキネジアとの関連性

○杵山慶太¹、黒岩真帆美¹、首藤隆秀¹、大西克典¹、河原幸江¹、宮本雄太²、福田孝一²、西昭徳¹

1) 久留米大学医学部薬理学講座

2) 熊本大学大学院生命科学研究部形態構築学分野

演題番号 10 【奨励賞対象演題】

Caloric restriction mediated hypothalamic-pituitary-adrenal axis regulation is dependent on a subset of AgRP neuronal activation

○Ruksana Yesmin¹, Miho Watanabe¹, Adya Saran Sinha¹, Masaru Ishibashi¹, Tenpei Akita¹, Atsuo Fukuda¹

1) Department of Neurophysiology, School of Medicine, Hamamatsu University.

17:10 ~ 17:20 休憩

17:20 ~ 18:00 特別講演 3 座長 福田 敦夫 (浜松医科大学 神経生理学講座)

「アストロサイトによる慢性疼痛の発症と新規治療戦略」

鍋倉 淳一 (自然科学研究機構 生理学研究所 所長 生体恒常性発達研究部門)

12月5日(日)

9:10 ~ 受付

9:25 ~ 10:40 一般演題3 座長 西 昭徳(久留米大学 薬理学講座)

演題番号11

自閉スペクトラム症に関与する GluA1 遺伝子変異が AMPA 受容体機能に与える影響

○内田琢¹⁾、高宮考悟¹⁾

1) 宮崎大学、医学部、機能制御学講座統合生理学分野

演題番号12

α シヌクレインの神経細胞取込みにおける脂肪酸結合タンパク質およびドパミン受容体の生理機能と伝播予防薬の開発

○川畑伊知郎¹⁾、福永浩司¹⁾

1) 東北大学、大学院薬学研究科、先進脳創薬講座

演題番号13

Length impairments of the axon initial segments in rodent models of attention deficit hyperactivity disorder and autism spectrum disorder

○Xiaoye Tian¹⁾, Noriyoshi Usui²⁾³⁾⁴⁾⁵⁾, Wakana Harigai¹⁾, Ko Miyoshi¹⁾, Takeshi Yoshimura¹⁾, Taiichi Katayama¹⁾

1) Department of Child Development and Molecular Brain Science, United Graduate School of Child Development, Osaka University

2) Department of Neuroscience and Cell Biology, Graduate School of Medicine, Osaka University

3) United Graduate School of Child Development, Osaka University

4) Global Center for Medical Engineering and Informatics, Osaka University

5) Addiction Research Unit, Osaka Psychiatric Research Center, Osaka Psychiatric Medical Center

演題番号14

幼少期ストレスが脳と行動に与える影響

○白井紀好^{1,2,3)}、大野雄太⁴⁾、荒巻良子⁴⁾、Stefano Berto⁵⁾、入江浩一郎^{1,3)}、小山佳久^{1,3)}、中村雪子^{1,3)}、近藤誠^{1,3)}、Genevieve Konopka⁵⁾、松崎秀夫^{2,4)}、島田昌一^{1,2,3)}

1) 大阪大学大学院医学系研究科神経細胞生物学講座

2) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科

3) 大阪精神医療センターこころの科学リサーチセンター依存症ユニット

4) 福井大学子どものこころの発達研究センター脳機能発達研究部門

5) テキサス大学サウスウエスタンメディカルセンター神経科学部門

演題番号15

反発因子 FLRT2 による神経細胞移動制御と社会性行動制御

○山岸覚¹⁾、衛藤史博²⁾、篠田陽³⁾、小川修二⁴⁾、矢尾育子^{2,5)}、宮川剛⁶⁾、高雄啓三⁷⁾、佐藤康二¹⁾

1) 浜松医科大学器官組織解剖学

2) 浜松医科大学メディカルフォトリクス研究センター

3) 東京薬科大学薬学部公衆衛生学教室

4) 東京理科大学生命医科学研究所実験動物学研究部門

5) 関西学院大学生命環境学部生命医科学科

6) 藤田医科大学総合医科学研究所

7) 富山大学研究推進機構研究推進総合支援センター

10:40 ~ 10:50 休憩

10:50 ~ 11:30 特別講演 4

座長 佐藤 康二 (浜松医科大学 器官組織解剖学講座)

「光で多細胞回路を叙述する研究を目指して」

和氣 弘明 (名古屋大学大学院医学系研究科 機能形態学講座 分子細胞学分野)

11:30 ~ 12:10 特別講演 5

座長 福田 敦夫 (浜松医科大学 神経生理学講座)

「治療抵抗性統合失調症の分類と治療」

伊豫 雅臣 (千葉大学大学院医学研究院 精神医学)

12:10 ~ 13:10 休憩

13:10 ~ 14:10

奨励賞受賞者

座長 中村 和彦

成果報告セッション

(弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座)

双極性障害家系ハプロタイプにおけるミトコンドリア代謝制御遺伝子 X の発現低下

○高松岳矢^{1,2)} [2017年、2018年]、馬目陽子⁵⁾、柳久美子⁴⁾、小金渕佳江⁸⁾、當山奏子¹⁾、李俊錫¹⁾、長谷川実奈美⁵⁾、服部功太郎^{6),7)}、功刀浩^{6),9)}、近藤毅²⁾、岡野ジェイムス洋尚⁵⁾、木村亮介³⁾、要匡⁴⁾、松下正之¹⁾

- 1) 琉球大学大学院医学研究科 分子・細胞生理学講座
- 2) 精神病態医学講座
- 3) 人体解剖学講座
- 4) 国立成育医療研究センター ゲノム医療研究部、
- 5) 東京慈恵会医科大学 再生医学研究部、
- 6) 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾患研究第三部
- 7) 同センター メディカル・ゲノムセンターバイオリソース部
- 8) 東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻
- 9) 帝京大学医学部 精神神経科学講座

Lipopolysaccharide induces mouse Translocator protein (18 kDa) expression via the AP-1 complex in the microglial cell line, BV-2

○Shuji Shimoyama^{1),2)} [2017年], Tomonori Furukawa¹⁾, Yui Sakamoto³⁾, Shinya Ueno^{1),2)} and Kazuhiko Nakamura^{1),3)}

- 1) Department of Neurophysiology, Hirosaki University Graduate School of Medicine
- 2) Research Center for Child Mental Development, Hirosaki University Graduate School of Medicine
- 3) Department of Neuropsychiatry, Hirosaki University Graduate School of Medicine

スフィンゴシン-1-リン酸代謝の統合失調症病態メカニズムへの関与の解明

○江崎加代子^{1) 2)} [2018年], 渡邊明子¹⁾, 岩山佳美¹⁾, 大羽尚子¹⁾, 上口裕之²⁾, 平林義雄³⁾, Brian Dean⁴⁾, 吉川武男¹⁾

- 1) 理化学研究所、脳神経科学研究センター、分子精神遺伝研究チーム
- 2) 理化学研究所、脳神経科学研究センター、神経細胞動態研究チーム
- 3) 理化学研究所、開拓研究本部、佐甲細胞情報研究室
- 4) The Florey Institute of Neuroscience and Mental Health, Australia

Oxytocin system dysfunction in patients with treatment-resistant schizophrenia: Alterations of blood oxytocin levels and effect of a genetic variant of *OXTR*

○仲田祐介¹⁾ [2018年]、金原信久^{2)*}、木村敦史¹⁾、新津富央¹⁾、小松英樹¹⁾、小田靖典¹⁾、中村美和子¹⁾、石川雅智¹⁾、長谷川直¹⁾、鎌田雄¹⁾、山内厚史¹⁾、稲積和彦¹⁾、木村大³⁾、仕子優樹⁴⁾、川崎洋平⁴⁾、伊豫雅臣¹⁾

- 1) 千葉大学大学院医学研究院精神医学
- 2) 千葉大学社会精神保健教育研究センター
- 3) 国際医療福祉大学成田病院精神科
- 4) 千葉大学医学部附属病院臨床試験部生物統計室

14:10 ~ 14:25 奨励賞授賞式 記念撮影

14:25 ~ 14:40 閉会の辞 大会長 福田 敦夫 (浜松医科大学 神経生理学講座)
